

**2022 年度 第 77 回国民体育大会バスケットボール競技 北海道ブロック予選会
兼 北海道体育大会 開催要項**

1. 主 催 公益財団法人 日本スポーツ協会
公益財団法人 北海道スポーツ協会
一般財団法人 北海道バスケットボール協会
2. 主 管 一般財団法人 北海道バスケットボール協会
3. 後 援 スポーツ庁
北海道
4. 期 日 少年の部「2022年 8月11日(木・祝日)～12日(金)」
成年の部「2022年 8月13日(土)～14日(日)」
5. 会 場 北海道立総合体育センター 北海きたえーる「札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1」
6. 実施要項
 - (1) 種 別 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子
 - (2) 競技方法 トーナメント式優勝戦「3・4位戦実施無」。
但し、参加チームが少ない(6チーム以下)種別は、リーグ戦も考慮する。
 - (3) 参加資格
 - (a) 参加チームは各地区協会から選出された、各種別1チームとする。
 - (b) 成年男子・女子、少年男子・女子の選手(予備登録選手を含む)は、公益財団法人日本バスケットボール協会定款第51条に基づき制定された「JBA基本規定第2節登録第101条(選手登録の義務)」に定める登録選手であること。
 - (c) 参加チームの代表選手の選出にあたっては、各地区協会に一任するが、日本スポーツ協会国民体育大会委員会発出文書「国民体育大会における都道府県代表選手の選考に関する指針」(別紙-1参照)を遵守すること。
 - (d) 成年の部
 - ㊦ 2005年12月31日以前に生まれたものが参加できる。
 - ㊧ 登録選手は、男子11名、女子12名としとする。
 - ㊨ 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生は、成年種別で出場できる。
 - ㊩ 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生のみの編成は不可とする。
 - ㊪ 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生の登録できる人数は、5名以内とする。
※高校生5人だけでは参加できない。
 - ㊫ 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。
 - ㊬ ふるさと選手は、国体規定ならびに(公・財)日本スポーツ協会「ふるさと選手制度の考え方」を遵守する。
※早生まれの高校2年生とは、誕生日が1月1日～4月1日を指す。年齢16歳以下が基準となる。
 - ㊭ 外国籍競技者の参加は、「(別紙-2 総則抜粋参照)総則5(1)ア(ア)を除いた、(イ)(ウ)に規定されている選手の参加は1名までとする。早生まれを除く高校2年生と3年生を参加させることができる。」
 - (e) 少年の部
 - ㊦ 早生まれの高校2年生及び高校1年生、中学3年生が出場できる。
 - ㊧ 登録選手は、早生まれの高校2年生及び高校1年生、中学3年生で構成し、合計12名とする。
 - ㊨ 中学3年生の出場は、1名以上が望ましい。
※早生まれの高校2年生とは、誕生日が1月1日～4月1日を指す。年齢16歳以下が基準となる。

- ㊤ 外国籍競技者の参加は、「(別紙 - 2 総則抜粋参照) 総則5 (1) ア (ア) を除いた、(ウ) に規定されている選手の参加は2名までとし、オンコートは1名までとする。」

(f) スタッフ

- ㊦ 指揮を執るコーチ(監督)はJBA公認コーチC級以上を持っていること。その他のスタッフは、JBA公認コーチC級以上を持っていることが望ましい。
- ㊧ スタッフは19歳以上(大会年の4月2日での満年齢)とする。
- ㊨ 指揮を執るコーチ(監督)、アシスタントコーチは複数のカテゴリーにエントリーできない。但し、指揮を執れる者が2名以上エントリーしているチームは除く(複数のチームに同一コーチがエントリーされている場合、同日同時刻の試合開始への対応措置)。
- ㊩ コーチライセンス登録は参加申込時まで完了していること。
※コーチ登録証の携帯についてコーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネックストラップを使用し、必ず首から下げておくこと。

(4) チームの構成人員

- (a) チームはコーチ(監督)1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手12名
成年の部男子は11名、「本戦(栃木国体)選手11名」とする。なお、成年の部の監督は、選手を兼ねることが出来る。
- (b) 北海道予選会の各地区選抜選手の予備登録
- ㊦ 国体規定に準拠した1道1ブロックのことおよびコロナ禍の対応措置として、成年男子4名、成年女子および少年男女に各3名以内の選手を登録することができることとする。
- ㊧ 感染症・けがなどにより、予選会に参加できない選手が出た場合には、予備登録選手より登録変更し、北海道予選会に参加することができる。
- ㊨ 予選に参加した選手(予備登録選手を含む)の中から本戦の選手を選考することができる。

(c) その他

※北海道内の選手を各地区協会が選考する場合、「居住地を示す現住所、在席学校所在地・勤務地、ふるさと」のいずれかの地区から参加することができる。ただし、本人の意向を考慮し決定する。
※Bコース在籍の選手で、男子少年の部・男子成年の部、双方の対象となりうる選手は、当該チームより本協会へ推薦することができる。本協会は推薦された選手の参加資格ならびに本人の意思を確認し、北海道予選会へ出場する地区協会へ選抜選考の対象選手として、本協会が推薦する。対象となった選手選考は、該当地区協会が6.実施要領(3)参加資格(C)を遵守し、決定する。

- (5) シードは、各地区協会の各種別の6月末日現在のチーム加盟数の多い順に4地区をシードする。同数の場合は、競技者登録数が多い地区を上位とする。

(6) 参加料

- (a) チーム参加料は、徴収しない。
- (b) 個人参加料(北海道スポーツ協会へ納付分)、2,500円/1名(参加料:1,500円、保険料1,000円)を下記「(7)に申し込み方法」に従って納付してください。
※但し、コーチ(監督)、アシスタントコーチ・マネージャーが多種別のスタッフを兼ねているときは重複して納める必要はない。

(7) 申し込み方法

- (a) 地区毎に各種別纏め、メールにて申し込むこと。
件名には【国民体育大会 ○○地区協会参加申込】と記載してください。
- (b) 参加申込書の記載不備があった場合、受理できない場合があります。確認の上、申込締め切り日(必着)を厳守してください。
- (c) 「様式-3」第 77 回国民体育大会個人参加料報告書を記入し参加申込書と合わせて送付すること。個人参加料の振込は道協会にて報告書を確認させていただきます。参加料は 7 月 20 日(水)以前には振り込まないでください。振込期間:7 月 20 日(水)~7 月 29 日(金)

振込先:北洋銀行 豊平支店 普通 3288592
財)北海道バスケットボール協会 専務理事 森野和泰(モリノカズヤス)

- (d) 申込締め切りは、2022年7月11日(月)必着とする。
- (e) 申込先 メール hbataikai@yahoo.co.jp
受信の返信が 7 月 14 日(木)まで届かない場合は下記へお問い合わせください。
(一財)北海道バスケットボール協会 011-820-1632)

(8) 組合せ 北海道バスケットボール協会の責任抽選とし、7月13日(水)までに抽選を実施し、速やかに北海道バスケットボール協会のホームページに掲載いたします。

(9) 代表者会議 8月3日(水) 18:30~リモート連絡会議を実施します。必ず各チーム1名出席をお願いします。「後日ミーティング ID、パスワードをお知らせします。」

(10) 選選手変更

- (a) 選手の番号の変更は認めない。
- (b) 予備登録選手より変更可
- (c) 変更届を北海道バスケットボール協会のホームページからダウンロードをして、8月8日(月)までに、メール(アドレス: hbataikai@yahoo.co.jp)で送付してください。なお、メールの件名に【国民体育大会○○地区選手変更】と記入して送信してください。
- ※メールを受信しましたら必ず返信しますので、8月9日まで返信がない場合は北海道バスケットボール協会までお問い合わせください。

(11) コロナ感染防止対策

- (a) チーム応援は、現在(6月21日)感染状況を鑑み、人数制限をして入場を認めることを考えております。しかし、今後の感染状況により変更する場合があります。詳細は、代表者に概要を改めてご案内いたします。また、競技会実施直前の変更もあることを重ねて申し添えます。
- (b) 「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版」および本協会が発出するガイドライン等を厳守してください。

(12) 競技規則は、日本バスケットボール 競技規則(2022年度版)による。

(13) 表彰は、各種別の優勝、準優勝および優秀選手表彰を致します。

(14) その他

- (a) 試合球は、成年男子と少年男子は、モルテン 12 面体 (B7G5000)、成年女子と少年女子は、モルテン 12 面体 (B6G5000) とする。
- (b) 濃淡 2 色の統一されたユニフォームを用意し、番号は、0 番、0 0 番から始まり 9 9 番までの二桁以内の番号とする。
- (c) 参加申込書に必ず競技者 ID、備考欄に登録所属チーム名を記載すること。

7. 本国会開催について

- いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会)
- ・会期:10月2日(日)~6日(木)
 - ・会場:日環アリーナ・サブアリーナ、宇都宮市体育館

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

競輪の補助事業



国民体育大会における都道府県代表選手の選考に関する指針

2020年7月17日

日本スポーツ協会 国民体育大会委員会

国民体育大会における都道府県代表選手の選考にあたっては、以下の内容に十分配慮するものとする。

1. 選考基準の明確化

代表選手の選考にあたっては、選考人数、選考期間、選考対象大会、選考の方法、予選会免除対象者の取扱、その他選考において考慮すべき事項について、具体的に定めた選考基準を設定すること。

また、選考基準については、代表選手選考団体の委員会等で決定され、具体性があり、客観的に公平性・公正性が認められる内容であること。

2. 選考基準の周知

選考基準については、選手・監督等の関係者に対し、通知あるいはHP等により、広く確認できる方法で、余裕を持って事前に周知（公開）すること。

3. 選考基準の変更

原則、選考期間中あるいは選考対象大会開始後に選考基準の変更を行わないこと。
なお、やむを得ず変更を行う場合は、すみやかに、選手、監督等の関係者へ周知し、十分に理解を得ること。

4. 選考結果の説明責任

選考結果については、選手・監督等の関係者に対し、通知あるいはHP等により、広く確認できる方法で周知（公開）すること。

また、選考結果に対する質問や疑義があった場合等の対応窓口を提示し、問合せ等があった場合は、すみやかに対応するとともに、当該者の理解が得られるよう、誠意をもって具体的かつ明確な説明に努めるなど、適切に対応すること。

【別紙2 総則抜粋】

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 77 回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学 3 年生）に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第 75 回又は第 76 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 75 回又は第 76 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者 [注]a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注]別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記2『一家転住等』に伴う特例措置による。）

[注] a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク 上記のほか、監督については公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。